

**2021年2月期(第43期)
第2四半期決算説明会**

2020年10月7日

 **イオン北海道株式会社**

1.2020年度 上期の業績 P. 3

第2四半期大幅改善。四半期純利益は過去最高を更新

2.新型コロナウイルスへの対応 P. 10

3.重点施策 P. 13

- | | |
|--------------|----------------|
| ①食のSPA化の取り組み | ②新規出店・活性化の取り組み |
| ③デジタルの取り組み | ④地域連携の取り組み |
| ⑤環境保全の取り組み | |

4.通期業績予想 P. 20

通期業績予想を上方修正

2020年度 上期の経営成績

経営成績【第2四半期累計】

○売上高増加。経営統合に加え、環境の変化への対応ができた

○四半期純利益は**過去最高**を更新

単位：百万円

	実績	前年同期差	公表差
売上高	157,549	+65,919 前年同期比171.9%	▲450 公表対比99.7%
営業収益	166,465	+65,560 前年同期比165.0%	-
営業利益	3,360 売比2.1%	+163 前年同期比105.1%	+1,060 公表対比146.1%
経常利益	3,354 売比2.1%	+141 前年同期比104.4%	+1,054 公表対比145.8%
四半期純利益	<u>2,427</u> 売比1.5%	<u>+421</u> 前年同期比121.0%	<u>+727</u> 公表対比142.8%

経営成績 【ライン別の既存店売上高前年同期比（3-8月）】

※旧マックスバリュ北海道の既存店舗実績含む

○第2四半期に売上回復。新しい生活様式の需要に応え売上増
 衣料は社会行事の中止などが影響したが、第2四半期回復
 食品、住居余暇は内食、巣ごもり関連商品好調

	第1四半期 (3月～5月)	第2四半期 (6月～8月)	第2四半期累計 (3月～8月)
衣料	59.8%	<u>93.4%</u>	75.6%
食品	104.3%	<u>101.8%</u>	103.0%
住居余暇	94.3%	<u>106.3%</u>	100.2%
企業計	97.7%	<u>101.5%</u>	99.6%

経営成績【売上総利益、営業収入、営業総利益 (3-8月)】

○売上総利益、営業収入ともに第2四半期に回復

第1四半期より約**20**億円改善

(単位：百万円。カッコ内は前年同期比)

	第1四半期 (3月～5月)	第2四半期 (6月～8月)	第2四半期累計 (3月～8月)
売上総利益	19,042 (149.2%)	<u>20,354</u> <u>(163.7%)</u>	39,397 (156.4%)
営業収入 (テナント収入など)	4,087 (87.2%)	<u>4,828</u> <u>(105.3%)</u>	8,915 (96.1%)
営業総利益	23,129 (132.6%)	<u>25,182</u> <u>(147.9%)</u>	48,312 (140.2%)

2,053百万円改善

経営成績【販管費】

- 新型コロナウイルスへの対応で活性化計画見直し。出張費も減
- 電気代削減、共通部門の合理化などで統合シナジー創出

(単位：百万円/%)

	実績	前年同期比	売上比 (前年からの増減率)
人件費	20,723	159.1	13.2 (▲1.1)
販促費	5,487	130.1	3.5 (▲1.1)
設備費	15,114	132.4	<u>9.6</u> <u>(▲2.9)</u>
一般費	3,626	138.4	2.3 (▲0.6)
販管費 合計	44,951	143.7	28.5 (▲5.6)

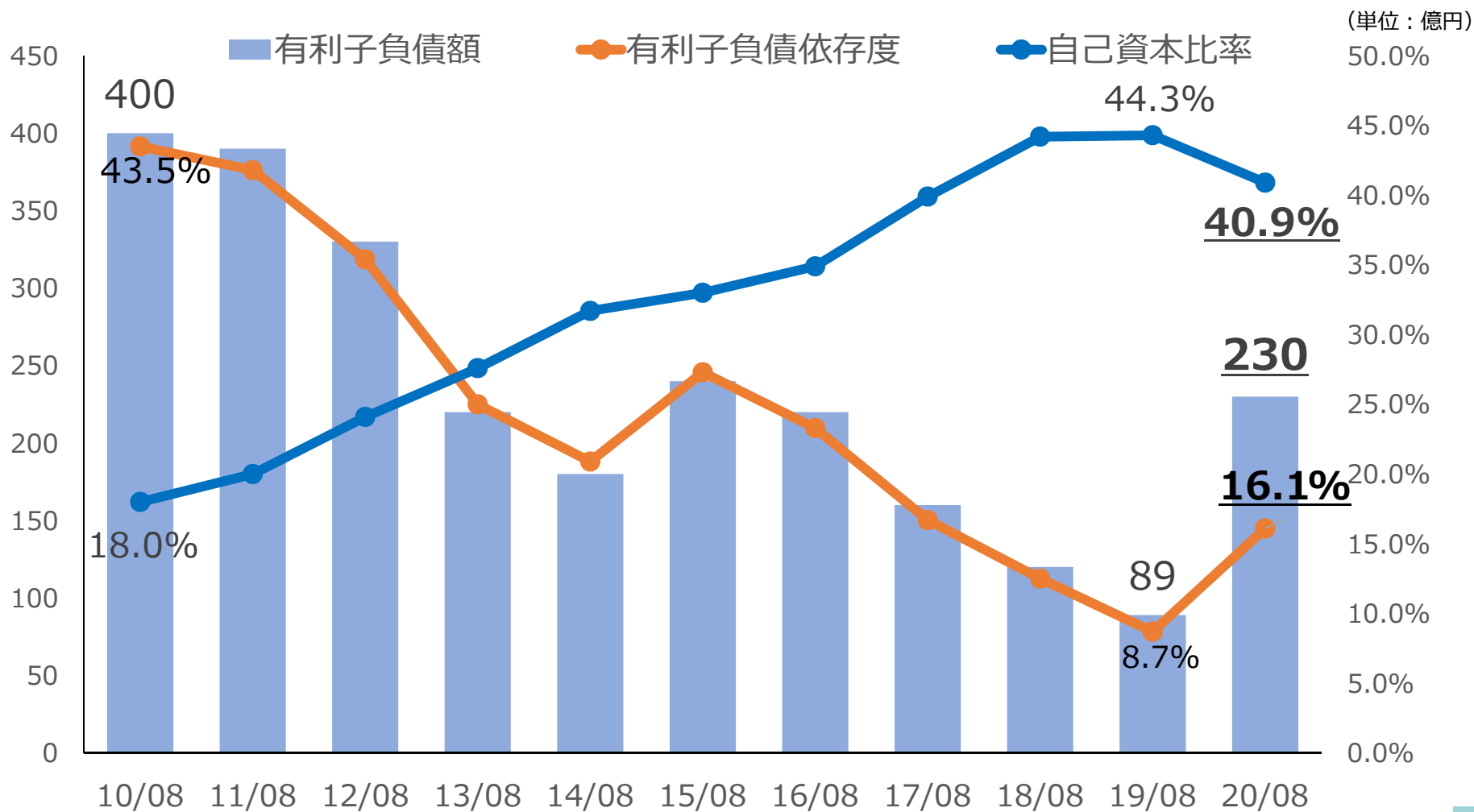
経営成績【財務状況】

○経営統合により資産が増加

(単位：百万円/%)	2020年8月期末			2020年2月期末	
	実績	構成比	増減	実績	構成比
流動資産	31,530	22.1	+6,609	24,921	23.3
固定資産	110,925	77.9	+28,904	82,020	76.7
資産合計	142,455	100.0	+35,513	106,942	100.0
流動負債	66,401	46.6	+22,099	44,301	41.4
固定負債	17,612	12.4	+2,642	14,969	14.0
負債合計	84,013	59.0	+24,742	59,270	55.4
純資産合計	58,442	41.0	+10,770	47,671	44.6
負債・純資産合計	142,455	100.0	+35,513	106,942	100.0

経営成績【財務状況】

○経営統合後、有利子負債依存度増加も依然自己資本比率を大きく下回る水準



新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスへの対応：安全・安心をご提供

〇いち早く感染防止対策を取り入れ、生活のライフラインとして営業継続

イオン北海道の安心宣言

1. 従業員はマスクを着用しています。
2. 従業員の体調管理を毎日行っています。
3. 店内に消毒液を設置しています。
4. 店内のドアを開放し定期的に換気をしています。
5. 手の触れる箇所は定期的に消毒・清掃をしています。
6. 間仕切りなど飛沫防止対策を実施しています。
7. 店内のソファやいすは間隔をあけています。
8. 咳エチケットや手洗いを積極的に呼びかけます。
9. イオン・WAONカードでキャッシュレスを推進します。
10. ホームページで当社の取り組みをお知らせします。



「新北海道スタイル」安心宣言

私たち事業者は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、

「7つの習慣化」に取り組みます！

1. スタッフのマスク着用や小まめな手洗いに取り組みます。
2. スタッフの健康管理を徹底します。
3. 施設内の定期的な換気を行います。
4. 設備、器具などの定期的な消毒・洗浄を行います。
5. 人と人との接触機会を減らすことに取り組みます。
 - ・ 一定の距離（2m程度）を確保するソーシャルディスタンス。
 - ・ 間仕切りなどの活用。
 - ・ 人数制限や空席の確保。
 - ・ 時差出勤、テレワーク など
6. お客様にも咳エチケットや手洗いを呼びかけます。
7. 店内掲示やホームページなどを活用し、お店の取組をお客様に積極的にお知らせします。
(感染症対策の可視化(見える化))

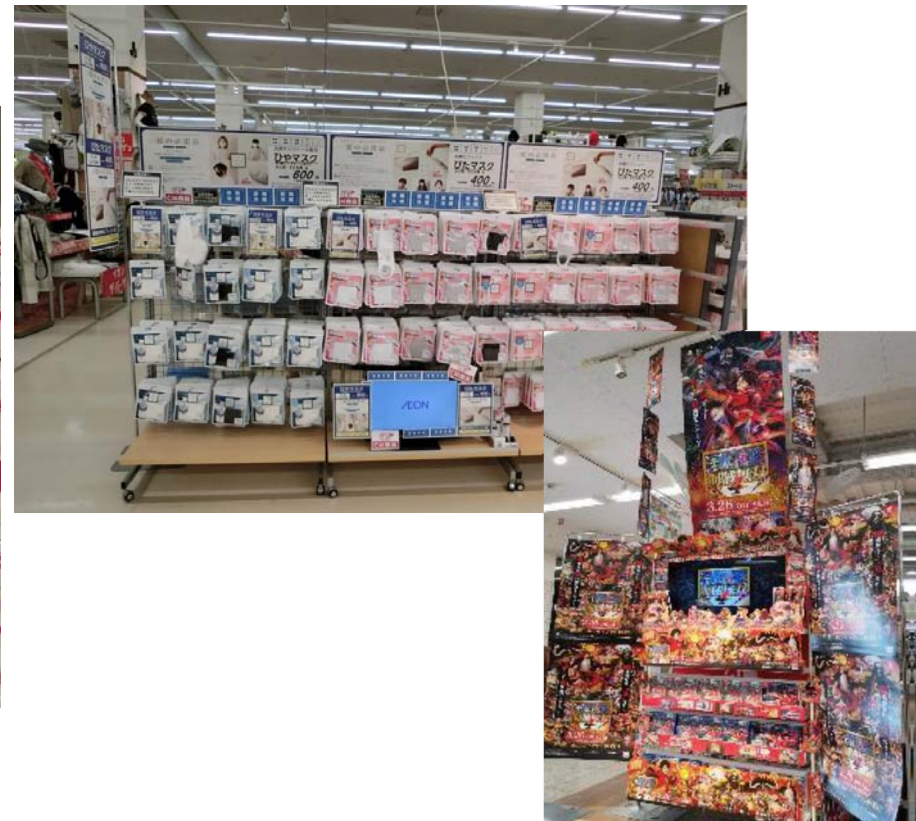
イオン北海道株式会社

新型コロナウイルスへの対応：安全・安心をご提供

○需要が高まった商品を迅速にお客さまにご提供



トイレットペーパーは不安を払しょく
するため大量陳列



需要が高まった商品の商品供給に注力
更なる需要創出のため提案も実施

2020年度 上期の重点施策

- ①食のS P A化の取り組み
- ②新規出店・活性化の取り組み
- ③デジタルの取り組み（インターネット販売事業）
- ④地域連携の取り組み
- ⑤環境保全の取り組み

重点施策：①食のSPA化の取り組み

- 食のSPA化推進のため、食品商品開発部を新設
- 上期計で約400品目開発 食品の売上増へ



<産地開発>



「今朝採れ野菜」
その日の朝に収穫された野菜を販売
とうもろこし、レタス

<商品開発>



「羊蹄山麓育ち！男爵ポテトサラダ」
羊蹄山の麓で育った男爵いもを使い、
北海道民の好みに合わせた甘めの
ポテトサラダ

重点施策：②新規出店の取り組み

○ 潤沢なキャッシュをもとに、重点エリア（旭川市・苫小牧市）へ積極的に出店。上期4店舗出店

<ザ・ビッグアモール店（旭川市）>



■ 3月開店

- ・旭川市内 ザ・ビッグ3店舗目
- ・簡便・時短に対応した商品を品揃え
- ・冷凍食品はリーチインケースを導入

<マックスバリュ日新店（苫小牧市）>



■ 7月開店

- ・苫小牧市内 マックスバリュ6店舗目
- ・農産や水産など地元の商品を品揃え
- ・GMSの商品群をラインロビン

重点施策：②活性化の取り組み

OSM・DS業態を中心に活性化を実施 売上は前年超

○大型活性化5件 大小合わせて上期25件実施

＜マックスバリュ北店（札幌市）＞



＜ザ・ビッグ東雁来店（札幌市）＞



・マックスバリュ北店（4月実施）活性化後

売上高前年同期比 113.0%

・ザ・ビッグ東雁来店（6月実施）活性化後

売上高前年同期比 116.6%

※数値は活性化の翌月から8月末まで



リーチインケース導入

重点施策：③デジタルの取り組み（インターネット販売事業）

- 需要増を受け、品揃え強化、システム投資や作業効率を改善
- 店頭受取サービス対応店舗を拡大
- インターネット販売事業計で前年同期比 **148.9%**

<ネットスーパー>



売上高前年同期比：134.6%

- ・新規会員数増
(前年同期比235.7%)
- ・デジタルピッキングシステムの機能改善

<eショップ>



売上高前年同期比：321.0%

- ・サイクルの品揃えを約600品目に
- ・お中元や旬ギフトの販促を強化

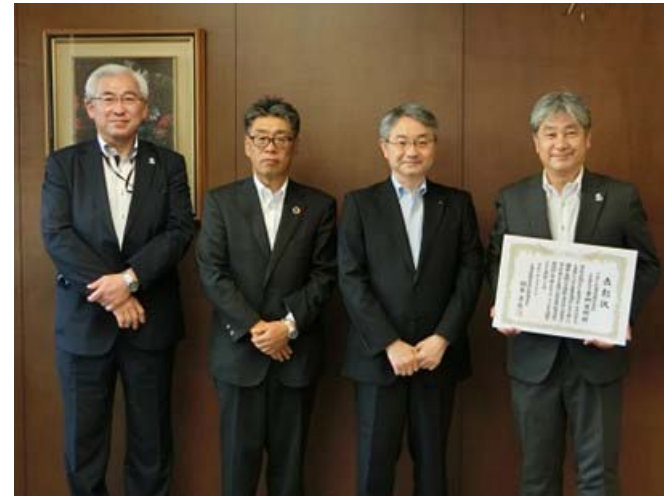
重点施策：④地域連携の取り組み

○北海道ガス(株)と「災害時における支援協力に関する協定」締結

○「北海道公共交通利用促進運動 <民間企業の部>」で表彰

<北海道ガス(株)との防災協定>

<北海道公共交通利用促進運動>



協定内容

- ・支援物資の提供など
- ・当社施設へのガス供給の継続、優先復旧

表彰理由

- ・「WAON」によるバスの運賃決済サービス
- ・イオンモール釧路昭和へのバス待合所の設置

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2つの取り組みは
SDGsの3つの目標達成に貢献

重点施策：⑤環境保全の取り組み～レジ袋の有料化

○4月1日より、有料義務化に先行して、全店で有料化を実施
 多くのお客さまにご協力いただき、辞退率は上期計86.0%



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



レジ袋の有料化は
SDGsの
4つの目標達成に貢献

2020年度 業績予想

※業績予想当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。
また、経済動向や個人消費、市場需要、税制や諸制度などに関わるリスクや不確実性を含んでいます。それゆえ実際の計画は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。

通期業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

○上期の利益改善が寄与し、第1四半期に開示した業績予想を

上方修正しました

単位：百万円

	計 画	増減率
売上高	320,000	+72.1%
営業利益	8,500 売比2.7%	+4.9%
経常利益	8,500 売比2.7%	+5.8%
当期純利益	5,300 売比1.7%	+36.8%

配当 / 配当性向

12円 / 31.5%

日々のいのちと暮らしを、「夢のある未来」へ。

AEON



木を植えています

私たちはイオンです